

高岡ロータリークラブ

2018/11/15

会長／加藤一博 幹事／山本政則

No.19



インスピレーションになるう

例会日：木曜日 12:30~13:30 創立：1951/11/15 チャーターナイト：1952/4/15 創立順位：No.68

司会 柳澤 会場監督 点鐘 加藤 会長
国歌斉唱／ロータリーソング
ゲスト 高岡市立博物館 主査学芸員 仁ヶ竹 亮介氏
会長挨拶／報告

訃報案内

◇元会員の二上 桂介 様（享年71才）が、
11月8日にご逝去されました。
◇元会員の前田 一樹 様（享年69才）が、11月
12日にご逝去されました。
—黙禱—

■誕生祝

吉田 雅弘 さん（11/21・65才）

幹事報告

■理事会⇒本日 13:30 桐の間

< ニコニコBOX 7件 17,000円 >

加藤会長／本日はゲストスピーカーに高岡市立博物館
主査学芸員 仁ヶ竹 亮介さんをお迎えして。

田中副会長／地元小学校の総合学習で5年生6人の社
会訪問と質問を受けることになりました。ちょっと
楽しみです。

吉村君／堀田善衛作品のファンです。仁ヶ竹さんの話
を楽しみにしております。

加茂君／仁ヶ竹さん、高岡 RC によろこそ！！卓話よ
ろしくお願いします。

板谷君／先日、皆出席祝い頂き有難うございました。

谷道君／本日、早退させていただきます。

上野君／出席委員長の上野です。所用により本日欠席
します。来週は出席します。

《今後のプログラム》

- 11/29 卓話：空手家 堀田 千宴子 氏
- 12/6 一年次総会—
- 12/13 卓話：循環器医師 永田 義毅 氏
- 12/20 一年末夜間例会—
- 12/27 一簡易例会—

◇プログラム◇



卓話

高岡市立博物館 主査学芸員
仁ヶ竹 亮介浪 氏

『堀田善衛の祖先・鶴屋と
一族』

高岡市立博物館で現在開催中の企画展「堀田一族と伏木 ~堀田善衛生誕 100年・日本遺産「北前船寄港地」追加認定記念」（11月25日まで）の紹介をさせていただきました。

国際的視野を持った芥川賞作家・堀田善衛(1918~98)は、高岡市伏木の廻船問屋「鶴屋」の出身である。本展では堀田善衛の生誕 100年の記念、及び先日伏木が日本遺産に追加認定されたことを記念して、善衛を育んだ伏木と堀田一族（八坂家・稲垣家・野口家）を歴史資料を中心に紹介している（協力：堀田善衛の会）。

堀田家の家系伝承は古く、始祖は興国3年(1342)に越中入りした後醍醐天皇皇子・宗良親王に随従したという。当主は代々「善右衛門」を名乗った。史料での初見は元禄6~11年(1693~98)、伏木村の肝煎として登場する（仮に初代とする）。2代は享保7年(1722)の「伏木出船奉行書上」によると、「地舟宿」であり、手船を所有している。3代は同史料に寛延2年(1749)に「八軒問屋」筆頭に登場する（のち七軒問屋）。4~5代あたりの享和2年(1802)、放生津柴屋彦兵衛の奥州木材を江差から伏木へ運送している。

6代（八郎平／生没 1826~1905年）は「中興の祖」といわれる。堀田家と縁戚の車屋（八坂）金平の二男。慶応3年(1867)時点の持船は6艘（明治15年に3艘）。明治3年、6代は能登屋三右衛門（藤井能三）・車屋（八坂）金兵衛と共に「開拓史北海道産物会所」の用達商に任命されている。

北前船交易のピークは実は明治前期にあった。その時代の堀田家・八坂家の米・昆布・繰綿・鯨肥などを取引したそれぞれの家の多くの古文書が残っており、共に当館に寄贈された。

北前船が伏木港に帰って来たらその家はもとより、町全体が賑わう様子は善衛の短編『鶴のいた庭』（昭和32年）に活写されている。

6代は近代資本主義の波にのり、明治29年(1896)に伏木銀行を創立し、頭取に就任した。取締役は八坂金平(6代の兄)と堀田善九郎(6代の三男)である。同33年(1900)当時、6代は他に廻漕問屋を經營しつつ、伏木港船荷問屋組合代表取締役、伏木問屋(資)社長なども務めている。

7代(善五郎/1846~1924)は伏木銀行頭取、北陸人造肥料(株)取締役、硫曹商会(合)社員、伏木新倉庫監査役、新湊鉄工所監査役、伏木貯蓄銀行取締役、伏木殖産銀行取締役などを務めた。

最後の善右衛門の8代(呉吉/1870~1934)は旧福野町の酒造業山田家から入婿した。明治40年(1907)金沢仙石町(香林坊)に教育用品商を創業。昭和3年、楽器運動店として合資会社となる(善衛の金沢二中時代(同6~8年)の一時期、ここに下宿する)。

善衛の父・堀田勝文(1885~1952)吉久の野口忠五郎四男(野口家は吉久の御蔵番役人)。慶應大学理財科卒業後、明治44年(1911)、くに(7代四女)と結婚、堀田家へ入婿。くにと勝文は夫婦で8代・いく(7代長女)夫妻の養子となる。伏木湊町の「堀田善右衛門商店」を新築移転し、家業に務めるが、大正末期に倒産してしまう。

しかし勝文は伏木港の発展を考え、大正13年(1924)、伏木海岸(湊町~岩崎沖の約43h)を埋め立て、外港築港を構想、申請する。昭和元年(1926)、伏木土地埋立会社創立。同3年着工。しかし激浪が予想以上で直ぐに計画縮小。同10年、予定の2割しか埋め立てられず会社を解散し、下請の飛島組(現飛島建設)に後事を託す。

さらに勝文は政治家に転身する。昭和8年(1933)、伏木町長となり、伏木港拡築、高岡市との合併を唱える(同17年に共に実現)。のち県会議員(同9~22年)となり、同15~17年は県会議長となった。

勝文はその他に県商工会連合会長、伏木町商工会長、射水郡農会長などに就任。教育にも関心が深く県伏木商業学校(現伏木高校)に満蒙館をつくりロシア語や中国語を正課とする新しい教育方法を試みた。また射水郡連合青年団長や中越運輸(株)、越中倉庫(株)、日本海運輸(株)の重役にも就任しており、常に伏木港の発展を願っていた。

国際感覚にあふれる善衛の文学の基盤は、父の影響や国際港であった伏木港で育まれたといえよう。

《 理事会 》

※指名委員会開催の件…承認

11月22日13:30~ 指名委員会開催
若野筆頭理事、加藤会長、田中副会長、山本幹事
室崎理事、駒井会員、金森副幹事

12月6日 年次総会

※年末夜間例会 開催の件…承認

12月20日(木)18:00~ 例会

※新年初例会 開催の件…承認

1月10日(木)

参拝18:00~/例会18:20~/懇親会18:30~
場所 射水神社 玉串(会長、副会長、筆頭理事)
会費 1万円

※伏木高校インターアクト海外研修参加の件…承認

伏木高校2年蒲田 涼馬 君、2年山内 志帆 さん
行先:台湾5日間

日程:2019年3月22日(金)~26日(火)
クラブ補助額:旅費は参加人数により異なります。

※10名以上 173,500円

15~19名 155,000円

20名以上 142,000円

クラブ補助は3分の1 58,000円~47,000円/
人になります。

報告事項

※第2回親睦ゴルフ報告

※伏木高校IAC10周年記念フォーラム報告

※北海道胆振東部地震義援金送金の件

※7月~9月 会計報告

※次回理事会開催日12月13日(木)13:30~